

令和7年度 第1回瑞浪市健康づくり推進懇談会議事録

- 会議の日時:令和7年7月3日(木) 午後1時30分～午後2時35分
- 場 所:瑞浪市保健センター3階 大会議室
- 出席者:藤本(省)、計良、加藤、正村、鷺見、梶田、厚見、野々垣、清水、
水野(義)、渡邊、藤本(敏)、和田、事務局(堀田、谷口、日比野、高沢)
- 傍聴者:なし

■ 議事

1. 事務局あいさつ

座長の選出(座長:連合自治会代表:正村氏)

2. 議題

(1)瑞浪市健康づくり計画 みずなみ健康 21(第3次)について…資料①、②

● 進捗報告

事務局:資料に基づき事務局説明。

事前配布資料からの変更点について

- ・がん検診受診率の表示
- ・Ⅱ度高血圧の基準値の追加
- ・特定健診受診率の訂正

● 質疑応答なし(事前の質問、意見等なし)

● 各団体の活動報告

- ・市からの委託事業で20歳代から節目年齢の歯科検診実施。若い年代からの歯科検診の必要性を感じている。
- ・子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種の周知を医師会に確認をとり、他薬剤師会と連携し実施した。効果は聞いていないので、どのくらい接種者が増えたかは分からないが。男性へ接種している自治体もあり、市長へ要請したが実現はできていない。その他は薬物多量摂取への取り組みの実施している。
 - 事務局より、子宮頸がんワクチンに関する進捗状況の返答
接種回数実績報告 R5年度 延べ353回→ R6 延べ1161回
瑞浪市は増えている状況である。
- ・6月に国民健康保険運営協議会に参加した。国民健康保険において大きなお金が動いていることを知り、健診、食事、運動等で病気を予防することの大切さを認識した。
- ・健康まつり、健康と体のフェスティバルなどイベントにて、軽スポーツ(スナッグ

ゴルフ、モルック)等の普及啓発を実施しているが、参加者が少ないことが課題である。

- ・減塩、野菜摂取量増加の取り組みとして調理実習をして、住民への普及している。
- ・令和6年度から第4次ヘルスプランぎふの取り組みを開始している。東濃地域の課題は高血圧、人工透析、男性の喫煙率が高いことである。地域、職域での取り組みについて会議を実施している。糖尿病性腎症重症化プログラムにCKD対策を追加し、糖尿病対策推進協議会の開催している。
- ・「体づくり」、「こころ」の2点についての取り組みを報告する。
「体づくり」では学校での健診実施、薬物乱用禁止についての教育を行っている。養護教諭中心に健診結果から受診勧奨しているが、受診しない人もいることが課題。コロナを機に運動機会の減少がある。夏季も暑さにより運動機会が減ってしまうことが課題である。
「こころ」ではSOSの出し方教室の取り組みをしている。繰り返し行うことで、自分の気持ちを伝えられるようになるとうい。不登校への取り組みとして、『校内教育支援センター』を令和6年度までに市内中学校3校に設置を完了し、令和7年度は小学校2校でも開始した。
- ・子どもから大人、高齢者対象のスポーツ教室を14回実施。スナッグゴルフ、健康体力づくり教室を開催。令和7年は『ねんりんピック』の開催を予定しており、瑞浪市では3B体操を開催する。
- ・楽しく遊ぶ中での体づくり、健康づくりの取り組みで、体を動かして遊ぶ子を増やすことを目指している。全身を動かして遊べる環境づくりの実施をしている。
- ・日常生活の中で健康管理に興味関心がもてるような関わり、保護者への啓発も行っていく。
- ・各地区公民館に喫煙防止ポスターの掲示をしている。コロナ以降、各地区の会議が開催されず、公民館の活用がされていないところもあり、どれだけの人に周知できているか疑問なところはある。公共施設は禁煙の掲示により、禁煙啓発の効果はあると思われる。寿大学について、稲津は盛んに活動している。健康寿命の延伸に寄与していると感じている。
- ・この時期、患者より熱中症予防の相談を受ける。スポーツドリンクは糖分、塩分をとりすぎてしまう。水分摂取は水、麦茶で十分である。その周知を行政ではどうか。

(2)第51回瑞浪市健康まつり…資料③

事務局:資料に基づき事務局説明

健康まつり実行委員会については承認

質疑応答なし

(3)その他

事務局：『精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム』についてリーフレットに基づき説明
アンケート協力依頼

閉会